

第2学年 音楽科学習指導案

1 題材名 「曲の構成を理解して、表現を工夫しよう」

教材名 「サンタルチア」 ナポリ民謡 小松 清 日本語訳

2 題材について

《学習指導要領とのかかわり》

- | | |
|------|-------------------------------------------------------------------------------|
| A 表現 | (1) ア 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。
イ 曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。 |
| 共通事項 | ア 音色 リズム 速度 旋律 強弱 |

(1) 題材観

本題材は、学習指導要領の「A表現」の内容(1)「ア 歌詞の内容や曲想を味わい表現を工夫して歌うこと」「イ 曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。」に関する学習内容である。歌詞の内容や曲想から、カンツォーネのもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌うことをねらいとしている。

「サンタルチア」では、3拍子の流れにのって、旋律の動きやリズムの反復、変化を感じ取り、強弱記号などを生かして表現の仕方を工夫し、音楽のもつ特徴や雰囲気が、音楽を形づくっている要素と深くかかわっていることを理解することができる。

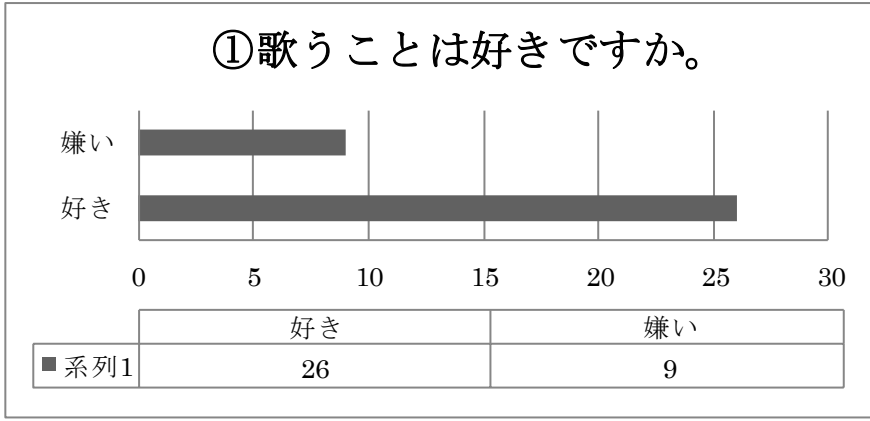
生徒はこれまでに、クラスの仲間と歌う曲について理解し、共有しながら合唱を仕上げる経験をしている。更に豊かな表現方法を身に付けるために、カンツォーネの鑑賞や歌唱活動を通して、曲種に応じた発声の方法や曲にふさわしい音楽表現について学び、主体的に表現ができる力を培ってほしいと考え、本題材を設定した。

小学校では、旋律の特徴を生かし曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌唱活動することを積み重ねている。中学校では、さらに表現を工夫するために、楽譜に書かれていることを読み取り、音楽の要素の働かせ方を試行錯誤しながら楽曲にふさわしい表現方法を工夫させたい。

(2) 生徒の実態 (男子19名 女子17名 合計36名)

【実態調査日：10月23日(月)】

本学級は、係活動や校内行事に対して真面目に取り組む生徒が多い。一方で、自分の考えや思いを発表したり発言したりすることを苦手とする生徒も見られる。音楽の授業の歌唱活動では、のびのびと歌っている姿が見られる。事前アンケートの結果は以下のようなものである。



「好き」と答えた人の理由

- ・歌詞の内容を想像して歌うのが楽しいから
- ・楽しいから
- ・歌うことに自信があるから
- ・ハーモニーをつくるのが楽しい
- ・気持ちが良いから
- ・元気が出るから
- ・先輩の歌を聴いて好きになった
- ・達成感があるから
- ・ストレス発散になるから
- ・クラスの一体感を感じられるから
- ・心がスッキリとするから

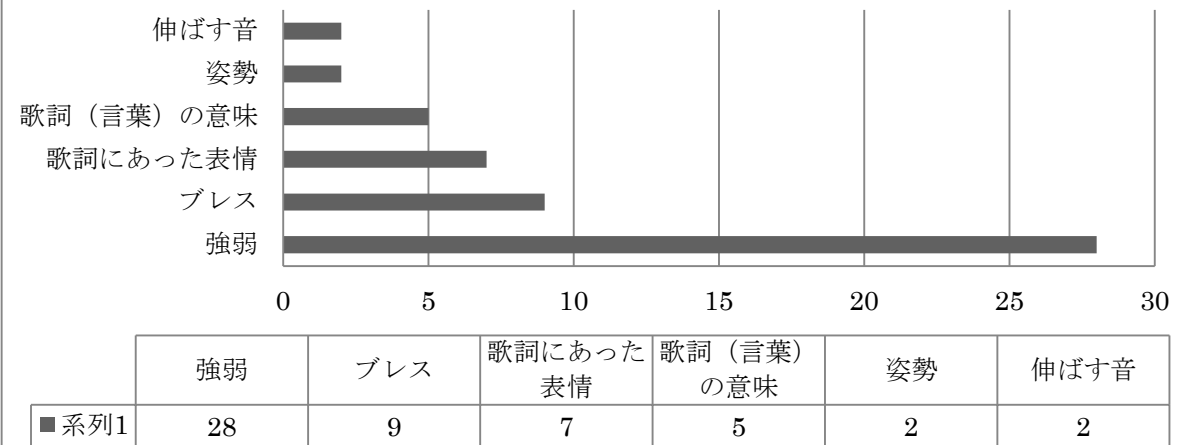
「嫌い」と答えた人の理由

- ・歌う時に喉がかわく
- ・歌うのは好きではないが、達成感が好き
- ・鑑賞は好きだが歌は苦手
- ・歌詞が覚えられない
- ・自信がない

②どんな歌が好きですか

曲のジャンルに関して	曲調に関して
<ul style="list-style-type: none"> ・ J-pop ・ 洋楽 ・ アニメソング ・ ボーカロイド 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リズムに乗れる曲 ・ 歌詞の内容の良いもの ・ 踊りたくなるような歌 ・ 元気のでる歌 ・ 強うそうな歌 ・ 明るい歌 ・ 楽しい歌 ・ 暗い感じ ・ しんみりとしたもの

③表現を工夫しようと言われたら何に気を付けて歌いますか。



④ 2曲を聴いて、どう思いましたか。また、曲の特徴は何でしょうか。

1 曲目 「オ ソーレ ミオ」	2 曲目 「フニクリ・フニクラ」
<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆっくりでなめらか ・ 声が力強い ・ リズムが単調だった ・ 強弱の激しさがめだった ・ 感情をむき出しにして歌っている ・ 地中海の港町のような雰囲気 ・ 響きが耳に残る ・ 明るい雰囲気 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テンポが速い ・ 強そうな曲 ・ 激しい感じ ・ 強弱の差が歌にある ・ 陽気な感じで、少しバカにされている気分になった ・ 弾む感じの曲調だった
等	等

《考察》

アンケートの結果から、歌っているとストレス発散になる、楽しい気持ちになると感じている生徒が多い。一方で、歌が嫌いだと答えた生徒の理由としては、歌詞が覚えられない、自分の声に自信がもてない、鑑賞の方が好きといった理由が挙げられた。歌唱活動では、音程のことについて多く指摘しがちになり、正しい音程で歌えているのか生徒自身で判断できず、そこから苦手意識をもってしまうのではないかと考えられる。歌うことが嫌いな生徒が、自信を持って歌うことができるよう、出来たことや成長がみられた時にはすぐに褒め、生徒同士でも認め会えるような場面を多くもち、歌うことに意欲が持てるように授業を進めていきたい。

どんな歌が好きかという質問には、J-popの曲をたくさん挙げている生徒や、洋楽やアニメソング、ボーカロイド等、歌のジャンルへの興味や関心は多領域にわたることがわかった。アーティストやジャンルを挙げていない生徒は、リズムに乗れる歌、明るい歌、踊れるような歌等、暗い曲よりも、明るく元気になれる歌を好む生徒が多いことがわかった。今回の教材の「サンタルチア」も明るく、リズムに乗れる曲調なので、生徒が取り掛かりやすい曲になると考える。

表現を工夫するには、どんなことについて気をつけるかという質問には、強弱に気をつけることと答えた生徒が殆どだった。また、その次に挙げられたのが、息継ぎをすることに気を付けると答えた生徒が多かった。合唱をする時には、楽譜に自分のパートの音符や強弱記号、ブレス記号に印をつけさせてから練習に取り組んでいる。このことから、歌うときにも意識をして歌っている生徒が多いと考えられる。一方で、歌詞の意味を考えながら歌うことや、声の質といった、曲のイメージを持って歌うことについて挙げている生徒が少なかった。曲のイメージを持たせることや、どんな風に表現したいのか考えさせ実行することが、授業の中で足りていないことがわかった。

教材の「サンタルチア」に取り組む前に、カンツォーネの2曲を鑑賞した。生徒の感想では、陽気な感じ、感情をむき出しにして歌っている感じ、強弱が激しいといったことを書いている生徒が多くおり、カンツォーネの曲調を聴き取っていた。

「サンタルチア」を歌う時には、曲のイメージを持ち、表現の仕方を生徒同士で考えさせ、実際に歌い合う活動を通して、表現を工夫することの楽しさや、思いをもって歌うことの良さに気付かせていきたい。

(3) 指導観

「サンタルチア」のナポリ語の歌詞は、ナポリ湾に面した美しい港を讃え、船頭が自分の船に乗って夕涼みするよう誘いかけている内容である。3拍子のリズムの雰囲気や、速度の変化は、波が寄せては返す様子を表すような雄大な曲想である。独唱曲であるこの曲の表現方法について考え、意見を発表し合うことで、合唱の授業で学習してきた表現の工夫について、どの程度身に付いているかを確認することができると考えた。また、イタリア語で歌うことを体験し、言葉の発音と音楽との密接な関係に気付かせることで、合唱の学習で身に付いた音楽表現を、更に深めることができるであろう。

本学級の生徒は、表現の方法についてリーダーから指摘を受けながら練習を進めることはできるが、互いに意見を交わしながら進めることにはまだ慣れていない。この教材を通して、表現方法をさらに深めるとともに、音楽的な意見を活発に発言できるようになってほしいと考えている。そのためには、第1時の学習では、サンタルチアを歌っている場面をDVDで鑑賞し、また、歌手の異なるCDを聴くことで、音楽の要素が楽曲の表現にどのように結びついているか気が付かせたい。テンポの取り方や、語感の表現の違い等にも着目させ、同じ曲でも、歌い手によって楽曲の表現の幅があることにも気付かせ、自らの表現の工夫に生かせるようにしたい。

3 題材の目標

原語の歌詞や曲想からカンツォーネのもつ情緒を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。

4 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。

5 研究の視点について

【視点1】9年間を見通した学び方の共有

○旋律の特徴を感じ取った表現の工夫

小学校では旋律の特徴を感じ取ろうという題材で、旋律の特徴を生かし曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌ったり演奏したりしている。中学校では、曲にふさわしい表現を工夫して歌うために、音楽の要素の働かせ方を試行錯誤し、楽譜に記されている用語や記号についても、その部分に記号が付けられた理由を考え、曲にふさわしい表現を工夫する活動が大切となる。小学校で学んだことや1年生のときに学んだことを土台として、曲にふさわしい表現になっているかどうかを考え、グループや学級で話し合いを深めながら、表現の質を高めていきたい。

6 題材の指導計画及び評価規準（2時間扱い）

時	○学習内容 ・主な学習活動	評価規準
1	<p>ねらい 「サンタルチア」の歌詞のもつ語感を知り、表現方法を考える。</p> <p>○歌詞の内容や曲想に関心を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴く。 ・日本語で歌い、歌詞の表す情景や曲想をとらえる。 ・旋律の特徴について気付いたことをワークシートに記入し、発表する。 <p>○原語の演奏を聴き歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イタリア語の語感や発声の特徴、強弱の変化について気づいたことをワークシートに記入し、発表する。 ・DVD鑑賞をする。 ・サンタルチアの歌手の異なるCDを聴く。 ・イタリア語で歌う。 	<p>歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>（関心・意欲・態度）</p> <p>歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。</p> <p>（音楽表現の技能）</p>
2 本 時	<p>ねらい 曲想を生かして表現を工夫する。</p> <p>○原語のサンタルチアの表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれ、曲にふさわしい表現となるように、発声や言葉の発音、強弱等の歌い方について意見を交換する。 ・意見交換した内容について、実際に歌ってみる。 <p>○グループごとに発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに話し合った内容を発表し、考えた表現方法で歌う。 	<p>音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>（音楽表現の創意工夫）</p>

7 本時の学習

(1) 本時の目標

○曲想を生かして表現を工夫する。

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	○教師のかかわり ◆評価規準 (評価方法)
5分	1 「翼をください」を歌う。	○教師のかかわり ◆評価規準 (評価方法) ○発声練習を兼ねて、合唱コンクールの課題曲を歌う。
5分	2 「サンタルチア」をイタリア語で歌う。 ・ 前時を振り返り、拍子や旋律の特徴を確認する。 言葉の発音、強弱、テンポ 3 本時の目標を確認する。	○前時の学習を振り返り曲想に関する留意点を想起させ、本時の内容につなげる。
	「サンタルチア」にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌おう。	
5分	4 「サンタルチア」にふさわしい表現となるようにするにはどのようなことに気を付ければ良いか確認する。 言葉の発音、強弱、テンポ	○サンタルチアにふさわしい表現となるように、言葉の発音、強弱、テンポなどの歌い方に視点をおくことに気付かせる。 ○挙手や発言をさせ、曲への表現の仕方を自分たちで話し合うことへの関心を高めさせる。
15分	5 グループに分かれ、歌い方の工夫を話し合い、実践する。 ・ ワークシートを見ながら今まで学習した内容を振り返りながら話をする。 ・ 気が付いたことを付箋に記入し拡大譜に貼っていく。 ・ リーダーを中心に工夫した点に気を付けて歌う。	○話し合う際には、前時のワークシートの内容を参照するよう伝える。 ○意見がでていないグループに助言をする。
	言葉の発音 強弱表現 3拍子のリズム フェルマータの表現 速度の変化	○グループのメンバーの中に、キーボードを弾ける生徒を1名ずつ配置して正しい音程で歌えるようにする。
15分	6 グループごとに発表をする。 ・ 工夫した点を発表し、グループのメンバーで歌う。	◆歌詞の内容や曲想を生かし、曲にふさわしい音楽表現をするために発声方法や旋律の特徴をとらえ、必要な技能を身に付けて歌っている。 (表現の技能) (観察)
5分	7 学習シートに授業の反省を記入する。	◆授業を振り返り、内容を理解している。 (学習シート)

